



中高生とともに差別と闘う

『あなたの誇りが、私の誇り』

吉成タダシ (うずしおブランチ代表)



素晴らしい故郷

「詩『ふるさと』のなかで自分に刺さった言葉を通して、大切な友へ、大切な家族へ、大切な故郷へ、自分のなかにある『思い出』を添えて言葉を贈りましょう。」

中学生生活最後の学年全体人権学習で、三年生に私が問うた、唯一の発問。最後に発言した子は、人権ことも塾に参加していた子でした。

「私が『ふるさと』の資料を読んで自分の心に刺さったのは、『吾子よ お前には 胸張ってふるさとを名のらせたい』という、丸岡さんが『吾子Ⅱ我が子』に伝えたことです。」

私は『ふるさと』を通して中学校生活をあらためて振り返ると、長いようで短かったような気がします。中学校生活のおよそ三年間に渡って学習してきた人権学習で、私は最初の方は今のように発表とかはできてなくて。でも拍手したり、頷いたりしてくれる同級生がいて、ここまで発表できるようになったになりました。そんな人権学習も今回で最後になりました。大切な友、大切な家族、それに大切な故郷に、めいっばいのありがとうという気持ちをもち、故郷を出ることになっても、私の故郷はとも素晴らしい故郷だと伝えようと思います。ありがとうごさいます。」

作者である丸岡さんの「ふるさと」と、わが故郷への思いが重ねられた瞬間でした。

どの子もすぐ成長しました。人権学習でみんなが成長した三年間でした。しかしそれは、資料だけから得られたわけではありません。資料を通して語り合った関係性のなかから得られたのです。

故郷が被差別部落であろうがフクシマであろうが、そこが私たちにとって大切な場所であることに変わりはありません。それは誰にとっても同じはずですが、それが、みんなに持つてほしい思いでした。

好きで誇りをもっている場所

授業後、生徒の感想が届いてきます。毎回それは私の気持ちを和ませてくれるのですが、なかに目を見張るものがありました。

「僕は今回の全体学習を受けて、自分にとって『ふるさと』とは何なのか、それと今まで支えてきてくれた家族への気持ちを考えました。」

まず僕にとっての『ふるさと』とは、自分の生まれた場所であって、人生で変更できないものの一つだと思っています。僕はこのことから、部落差別をあまく見ていたと思いました。理由は、自分の生まれてきた場所は人生で変えられないのに、そのことについて言われたいする差別だと、あらためてわかったからです。

僕の家族はみんなとてもパワフルで、ワイワイした感じです。僕はそんな家族が大好きですが、最近母に部落差別の話をしたとき、母は「私たちも部落出身よ」と軽

く笑いながら言いました。僕はとてもびっくりしました。今まで遠い存在だった『部落』というものが、一瞬にして目に飛び込んできた感じがしたからです。僕は母に、「何でそんな軽く言えるの?」と聞くと、母は『あの地域が世間から部落と言われているけど、私にはたった一つの居場所であって、ふるさとでもある場所、あそこが好きで誇りをもっている』って言いました。僕はそんな母の話を聞いて、吉成先生の話がちよっと分かったような気がしました。

あなたの誇りが、私の誇り

「上手に言葉にできないけれど、とても感動しました。今までの人権学習がすべてつながって、いろいろなところから少しずつ掘っていた穴が全部つながって大きな穴ができて、新しい景色が広がったような感覚です。そして、そのトンネルの出口は、トンネルを抜けた先の世界の入り口でもあるように、全体人権学習は終わるけれど、新しい生活へ、これから未来への第一歩なのだと思います。」

私にとって一年生のときから積みあげてきたこの時間は本当に宝物だし、意見を言ったり聞いたりできる同級生も、先頭に立って

れた素敵な先生も、私の誇りです。最後に発表できてよかったです。先生が、『よく覚えていたね』とおっしゃいましたが、私はこれからはずっと覚えていたいと思います。一年、二年のときに書いた感想や、配られた人権だよりを今読み返すと新しい気づきがあるので、今日の資料や感想を何年か経ったあとと見返すのが楽しみです。三年間、充実した時間を本当にありがとうございました。」

素直に、涙が溢れます。そんなふうにしてきてたのかと。すべてではないかもしれませんが、一つでも何か胸に響いて果立ってくれば、それで目的の多くは果たしたのかもしれない。

年明け、教え子の成人式のお祝いに招かれて参加しました。私が担任したのは支援学級の一人だけですが、それでも何人もが、当時の人権学習や中学生集会を思い出して、笑顔で話しかけて来てくれます。人権劇をした子はその後演劇部に入ったとか、主役を務めた子は忘れられない特別な思い出だったとか。人権学習をした関係性は、あらゆる垣根を超えてつながれることを実感しました。

何をしたか記憶に残らないような人権学習ではなく、後の人生に残り続け、影響を与え続けられるような、未来をも変えてしまうような学びが、どこの学校でも為されたいと思います。みんなで語り合う人権学習は、人の生き方さえ変えてしまう力があるのだと思います。卒業おめでとう。